市数研だより

平成２５年６月２５日発行　　ＮＯ．１　熊本市中学校数学教育研究会

去る５月１０日（金)、平成年２５度市数研総会及び５月の研修会がアークホテルにて行われました。市教育委員会より竹下教育審議員をはじめ、多くのご来賓を迎え、市内各中学校の先生方と有意義なひとときを過ごすことができました。また、平成６月１３日（木）には、第１回の市数研定例会が東部中学校パソコン室で行われ、たくさんの先生方に参加していただきました。

市数研では本年度も毎月第２木曜の１９：００から定例会を開催します。来年度は、九州算数・数学教育研究（熊本）大会が熊大附属中を会場に行われます。その大会を大成功できるように、会員の先生方の知恵と力を結集して頑張っていきましょう。たくさんの会員の先生方の参加をお待ちしております。

特別顧問：堤　裕　（長嶺中校長）
会　　長：山田昭雄　（東部中校長）
副 会 長：多賀美文　（鹿南中校長）
　　徳永光博　（託麻中校長）
事務局長：緒方雅美　（帯山中）
研究部長：楳木敏之　（北部中）
会　　計：佐々木真　（桜木中）
専門部長：青木理華　（託麻中）
　　越地真人　（清水中）
　　神田英俊　（江南中）
　　宮本晃利　（江原中）
　　城塚さとみ（竜南中）
　　津田展良　（下城南中）
監　　査：井深友美　（藤園中）
　　本間勝也　（東部中）

１．市数研会長の山田校長先生（東部中）のあいさつ

お暑い中、第一回の市数研定例会にお集まりいただきありがとうございます。多くの意欲ある先生方が参加され、大変嬉しく思います。私自身も会長として、身も心も数学に打ち込みたいと思います。

九州大会まで約１年間ありますが、１年というのは、あっという間に過ぎていきます。緒方先生と楳木先生、佐々木先生を中心として、計画的に九州大会に向けての取り組みを頑張って欲しいと思います。どうぞよろしくお願いします。

２．年間活動計画、研究の指針について（楳木先生）

（１）年間計画について

今年度は、１年間かけて九州大会の向けての授業作りをメインで取り組んでいきたいと思います。遅くとも今年度の３月までには、指導案集を完成し、来年の４月からは、研究紀要の作成に取りかかりた

いと考えています。昨年度の県大会よりも速いペースになります。それを受けて、今年度は８月の臨時研究会に加えて、３月にも定例会を行います。

また、今年度は、１人でも多くの先生に参加して頂くための試みとして定例会を市内のいくつかの学校で開催したいと考えています。第２回は託麻中学校、８月の臨時研究会は附属中学校、第３回は西山中学校を予定しています。ご協力よろしくお願いします。

（２）研究の方向

昨年度の県大会と同様に、九州大会でも魅力ある数学的活動を生かした授業づくりを目指し、「数学的活動を生かし、生徒一人一人の学びの質を高める指導の工夫」（案）を研究主題として取り組んで行きたいと考えています。今回は、学びの質（数学的な思考・表現の質）を高めるというところにこだわっていきたいと思います

○数学的な思考力・・・問題を解決するためには、これまで経験してきたことや、学習してきたことなどの中から、何が使えるのか、どう活かせばよいのかを判断したり、試してみたりすることで、根拠を明らかにしながら数学的な表現を用いて、道筋を立てて考えを作り上げていく力のことである。

○数学的な表現力・・・問題を解決する手段として、言葉、数、式、図、表、グラフなどを用いて、自分の考えを分かりやすく表す力と他者に根拠を明確にしながら道筋を立てて説明する力のことである。

３．九数大会へ向けて

	1年　A部会	2年　A部会	3年　A部会
授業者	花田　幸一　（鹿南）	下田 桑太郎（長嶺）	越地　真人　（清水）
チーフ	園川　弘美　（桜山）	坂本　英明　（白川）	堀之内 聖二（龍田）
	1年　B部会	2年　B部会	3年　B部会
授業者	坂元　ゆみ　（五霊）	河野　芳宏　（東野）	坂口　隆義　（附属）
チーフ	松本　英之　（二岡）	牧田　朋子（出水南）	澤田　昌宏　（附属）

【１年Ａ部会】

当たり前に計算していることが、なぜそうなるのかを考えさせ、説明させる授業を考えている。実際に授業をして、検討していきたい。

【１年Ｂ部会】

資料の整理を授業で扱いたい。グラフにまとめたり、グラフを読み取らせたりする活動を取り入れたい。導入時には、小学校での既習事項と関連させたい。

【２年Ａ部会】
　連立方程式の利用を考えてきてもらった。モデルから式をつくるというながれである。また、ドーナツの体積や表面積を求めるという題材も考えてきてもらった。検討することもあるが、とりあえず一回授業をやってみたい。
【２年Ｂ部会】
　一次関数の利用のところを授業してみたい。色々な先生方からこれまでの実践等を聞くことができたので、今後の参考にしていきたい。

【３年Ａ部会】
　３年生の一学期に学習する単元から授業ができないか検討した。また、素因数分解を利用した授業ができないかと考えている。
【３年Ｂ部会】
　一次関数と二次関数をからめた授業を行っていきたい。これから、いろいろなことを検討していきたい。

１年Ａ部会：授業者　花田先生　チーフ　園川先生　１年Ｂ部会：授業者　坂元先生　　チーフ　松本先生

２年Ａ部会：授業者　下田先生　チーフ　坂本先生　２年Ｂ部会：授業者　河野先生　チーフ　牧田先生
（所用ため欠席）

３年Ａ部会：授業者　越地先生　チーフ　堀之内先生　３年Ｂ部会：授業者　坂口先生　チーフ澤田先生

４．編集後記

今回の定例会に参加して、多くの先生方のお話を聞くことができ、私自身大変勉強になりましたし、『さらに数学を学びたい！』という気持ちが高まってきました。今回は参加を見送られた先生方も、次回の定例会に是非参加されて、お互い学び合えればと思います。熊本市の数学教育をさらに良いものにしていくために、みんなで力を合わせて頑張っていきましょう。多数のご参加をお待ちしております。ご質問やご感想等がありましたら、下記のアドレスにお願いします。さらに魅力のある市数研だよりにしていければと思います。

tuda.nobuyoshi@t.kumamoto-kmm.ed.jp

７月の定例会は、

７月１１（木）１９：００～２１：００

託麻中学校　図書室

で行われます。

- **定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！！**
- **各学校から１名以上の参加をぜひともお願いします！！**
- **特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします。**

文責　下益城城南中学校　津田展良